

市民人権部人権政策課

1 学校における人権教育の推進

(1) 米子市いじめ問題検証委員会および米子市日吉津村中学校組合いじめ問題検証委員会の設置

平成26年7月1日より設置 再調査件数0件

(2) その他

ア 人権の花運動 五千石・成実・福米西・伯仙小学校

2 社会における人権教育の推進

(1) 市民啓発

ア 中学校区人権問題講演会 福米・美保・尚徳中学校区

イ 社会教育指導者養成

(ア) P T A人権教育研修会 年3回開催 延べ310人参加

(イ) 人権教育地区推進員研修講座 年4回開催 (米子市人権教育地区推進員54人を対象)

ウ 中学校区社会・学校人権教育関係者連絡協議会 11中学校区

エ 社会教育団体の研修

オ 社会教育振興事業

カ 人権教育地域懇談会開催 市内23校区にある米子市地区人権・同和教育推進協議会に委託し実施
年87回開催 2,081人参加

キ 広報誌に掲載 広報よなご「幸せな社会づくりをめざして」 年12回
人権問題啓発誌「心ゆたかに」 年2回

(2) 企業啓発

人権教育推進員を派遣し、企業等に対し人権問題に関する講演や研修体制の指導・助言を行い人権問題啓発を行った。

ア 講演実施回数 延べ 16回

(3) 社会を明るくする運動

ア 開始式 7月2日 米子市文化ホール メインホール

開始式行事 ミュージカル「こだまー小さな絆の物語ー」 ミュージカル劇団ゆめ 530人参加

イ 少年育成野球大会 7月29日～31日

ウ 施設訪問 7月11日 美保学園、喜多原学園

3 人権情報センター

(1) 利用環境

ア フィールドワークの受入れ 18件

イ 図書資料蔵書総数 5,031冊

ウ 啓発ビデオ・DVD所蔵総数 470本

(2) 人権に関する情報の収集

ア 収集・購入した図書資料 57冊

イ 収集・購入した啓発ビデオ・DVD 3本

ウ 県内外の人権啓発機関誌・資料等

(3) 人権に関する情報の提供

ア 「よなごの人権フォーラム「17」の開催

期 日 平成29年11月23日

会 場 米子市文化ホール

演 題 L G B Tを理解する～同性婚・新しい家族のかたち～

講 師 東小雪 (L G B Tアクティビスト)

参加者 200人

イ 「市民向け人権学習講座」の開催

期 日 平成29年6月～9月 (計6回)

参加者 計277人

演題及び講師

第1回 もっと知ろう、盲導犬のこと (障がい者) 田淵ひとみ 氏

第2回 手をかけ・目をかけ・心をかけ・ことばをそえて (子ども) 池田千鶴枝 氏

第3回 サイバーセキュリティ対策 (情報) 北浦弘昭 氏

第4回 大山口列車空襲について (戦争) 伊木弟一郎 氏

第5回 「ありのままのわたしを生きる」ために (性的マイノリティ) 土肥いつき 氏

第6回 ぬくもりを感じて ～止揚の生み出すもの～ (同和問題) 中倉茂樹 氏

ウ 人権情報センター機関紙「ひゅーまんらいつ」発行 (年12号)

エ パネル展・企画展の開催

ハンセン病パネル展 平成29年7月25日～31日

拉致問題啓発パネル展 平成29年12月8日～18日

企画展「知っていますか? L G B Tのこと」平成30年3月28日～4月6日

4 推進団体の育成支援

(1) 米子市人権・同和教育推進協議会

ア 米子市補助金 3,014,000円

イ 主な事業

(ア) 第43回米子市人権・同和教育研究集会

期 日 平成30年1月18日

会 場 米子コンベンションセンター・米子市文化ホール・米子市役所

テーマ 「みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう」

午前 全体会 意見発表 2組

記念講演 『笑顔の戦士～生きているって幸せ～』

講 師 元フリーアナウンサー 道志真弓 氏

午後 分科会 6分科会

夜間 分科会 1分科会

参加者 705人

(イ) 研修会、研究集会派遣事業

第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会参加

期 間 平成29年8月3日 (倉吉未来中心大ホールほか7会場)

(ウ) 研究委託事業

部会名	事業名	備 考
就学前教育部会	就学前人権・同和教育研究委託	保育園に研究委託
学校教育部会	中学校区人権・同和教育研究委託	市内11中学校区
社会教育部会	広報発行委託	人権・同和教育広報発行 9地区同推協
	P T A研究委託	2中学校区P T Aに人権・同和教育研究委託

(エ) 同和地区学習会

5小学校（5地区）、4中学校（4地区） 指導者 延べ520人

目 的 同和地区児童生徒の社会的立場の自覚を深めるとともに、未来への明るい展望を持ち、差別の悪循環を断ち切るために必要な力を育成する。

(2) 米子市人権問題企業連絡会

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、企業がその社会的責任の重要性を自覚し、自らの問題として主体的、自主的に取り組んでいくことを目的として平成8年11月に設立された「米子市人権問題企業連絡会」に対する補助金の交付等事業支援を行った。

ア 米子市補助金 350,000円

イ 会 員 数 67社（平成30年3月31日現在）

ウ 主な事業内容 定期総会、幹事会、トップ・担当者研修会、新規採用者研修会、人権問題研修会、県内外の各種集会・研修会への参加

5 同和対策関係

(1) 隣保館事業

福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行った。

ア 啓発・広報活動（隣保館講座の開催、隣保館だより（ふくりん通信）の発行等）

イ 相談事業（生活上の相談や人権に関わる相談への助言、指導）

ウ 地域交流事業（各種教養講座、学校やP T Aとの交流会の開催等）

エ 地域福祉事業（健康講座、高齢者料理教室の開催等）

オ 識字・日本語教室（フィリピン出身の方を対象とした日本語読み書き教室の実施）

(2) 地区会館運営事業

隣保館事業に準じた事業を行い、地域住民の福祉の向上を図った。

(3) 米子市同和対策進学奨励金の給付

市内に住所を有する同和地区関係者で、大学、専修学校等に進学する能力を有しながら経済的に修学が困難な者に対して、進学奨励金（月額18,000円）を給付した。

ア 受給者数 大学4人、専門学校2人 計6人

イ 給付額 972,000円

(4) 同和地区高校生研修会

夏期研修 8月1日 岡山市人権啓発センター（洪染一揆資料館）

(5) 住宅新築資金等貸付事業に係る貸付金の償還事業

昭和41年度から平成8年度にかけて行った住宅改修資金、宅地取得資金、住宅新築資金貸付事業の償還事務を行った。

(6) 差別事象への対応

差別事象発生時には迅速かつ適切な対応を行った。

(7) 米子市同和事業推進協議会への支援

市内の同和地区関係者によって組織された同協議会が行う、同和問題の早期解決及び同和地区住民の社会的地位の向上を図るために実施する事業について支援した。

米子市補助金 1,300,000円

6 拉致問題関係

北朝鮮による拉致被害者として政府認定された松本京子さんのほか、市内では、古都瑞子さん、矢倉富康さんが消息不明で拉致された疑いが持たれている。拉致問題の早期解決に向け、世論を盛り上げるための市民啓発を行った。

(1) 拉致問題啓発パネル展の開催（2回）

第1回 平成29年10月20日～26日（米子市立図書館2階展示ギャラリー）

第2回 平成29年12月8日～18日（米子市役所第2庁舎1階人権情報センター）

(2) 「拉致問題の早期解決を願う国民のつどい in 米子」開催

平成29年10月14日 米子コンベンションセンター国際会議室 参加者 約200人